

ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2830

松本康子

2012-2013 ガバナー

奉仕を通じて
平和を

Peace through Service

■ガバナー事務所：ホテル青森2F
〒030-0812 青森県青森市堤町1-1-23
tel.017-752-8707 fax.017-752-8708
e-mail:2012office@rotary-aomori.org



On the Wind of Peace
平和の風に乗って

YASUKO MATSUMOTO
2012-2013 GOVERNOR

■OFFICE : HOTEL AOMORI
TSUTSUMIMACHI, AOMORI, JAPAN
TEL:+81 017 752 8707 FAX:+81 017 752 8708
E-mail:2012office@rotary-aomori.org

2012年10月26日

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 千田 毅 様

国際ロータリー第2830地区

ガバナー 松本康子

被災地復興支援委員会 委員長 村井 達(PDG)

被災地復興ご支援への感謝
及び 復興支援委員会業務終了のご報告

謹啓 皆様におかれましては、日頃、ロータリーの奉仕活動に邁進しておられますことに深く敬意を表させていただきます。

さて、2011年3月11日発生の東日本大震災によって、私共の国際ロータリー第2830地区（青森県全域）も巨大な被害を蒙りました。この大震災からの復興に関しまして、早速世界各地のロータリアン、ロータリークラブ、地区等から、心のこもった義捐金やご寄付をお贈り頂きました。誠に有難く、深謝致しております。

第2830地区では、大震災直後から「被災地復興支援委員会」を組織し、皆様からお預かりした義捐金を基金とし、2011年4月から2012年9月までの1年6ヶ月の間、被災者被災地の復興支援活動を行ってまいりました。復興活動の指針としましては、単なる元に復する復旧ではなく、物資の面、心のケアの面双方に亘る未来創りを旨とする「創造的進化」を志向致しました。支援範囲は、青森県のみならず、想像を絶する被害を蒙った隣接の第2520地区（岩手県・宮城県）及び第2530地区（福島県）も含めました。

支援を受けた被災者の方々も、皆様方ロータリーから賜りました御厚志に対し、深い感謝、そしてロータリー活動への称賛の意を表して下さいました。

支援先の方々を代理する形になりますが、第2830地区ガバナー、同地区被災地復興支援委員長として、皆様のロータリー精神発揚に敬意を表しつつ、此処にあらためて心より感謝申し上げます。

活動内容につきましては、委員会作成のパワーポイント報告書（日本語版及び英語版）をDVDに納めましたので、同封申し上げます。皆様の活動記録の一環に供して頂ければ幸いです。

謹白

国際ロータリー 第2830地区

**被災地復興支援委員会
復興支援企画実行委員会**

2011年4月～2012年9月

活動報告

2012年9月14日

被災地復興支援委員会 委員長 村井 達

東日本大震災

宮城県 名取市 2011年3月11日



東日本大震災

岩手県 宮古市 2011年3月11日



東日本大震災

岩手県 南三陸町 2011年3月11日



東日本大震災 津波被害の八戸港



東日本大震災 津波被害の八戸工業地帯



1. 委員会組織

国際ロータリー第2830地区として、2011年4月23日東日本大震災からの復興を念じる2010-11年度中村義弘ガバナーの要請により、

「被災地復興支援委員会」

及び 実行本部(タスク・フォース)

「復興支援企画実行委員会」

が設置されました。性格上2010-12年度の複数年度に亘る活動となりました。

2. 支援活動資金 委員会事業資金（義捐金等）

- 1) 弘前RC・つがるRC等当2830地区内各RCやロータリアンからの義捐金。
- 2) 当地区西第2分区での一般市民からの街頭募金。
- 3) 第3330地区（タイ南西部一識字率向上支援地区）、宜蘭RC（台湾）等を含む海外の地区、クラブ、個人からの義捐金。
- 4) 第1, 2, 3ゾーン（日本）のガバナー会からの寄金。
- 5) 国内2760地区（愛知）・2570地区（新潟）・2610地区（石川・富山）及び豊田RC等国内各地の地区やクラブからの義捐金。
- 6) 2650地区京都洛中RC主催し、姉妹クラブのチェコ・プラハRC共催のプロジェクト「心の癒し事業・被災地の子供たちをプラハへ」で当地区被災地から高校生26名教諭4名計30名をチェコ共和国プラハに招待。
- 7) ロータリー財団新築補助金活用、パイロット地区からの支援、当地区大会における被災地応援バッジ収益金など。
- 8) 京都洛中RC佐々木哲氏からの被災児童へのチョコレート寄贈。

以上のような心のこもった義捐金・寄付金が財源。

2012年9月14日決算での委員会関与支援資金規模 22,114,214円。

他にも八戸南クラブの財団東日本復興基金日本委員会よりの26百万円活用による八戸市蕪島トイレ再建プロジェクトなど、地区内クラブや地区外関連クラブとの共同支援プロジェクトが実施または計画されております。委員会の支援活動を列挙します。

3. 活動実績 ー ①

①青森県内被災児童並びに他県からの避難児童に対する奨学金支給

各分区での調査に基づき、被災児童367人へ図書券と文具等購入商品券各20,000円を贈呈。6月24日、八戸市立多賀台小及び八戸市立港中で贈呈式を行った。その後、県内各地で委員会メンバーとガバナー補佐協力のもと校長会代表者の方々へ贈呈。

7,340千円



被災学童への奨学金贈呈 2011年6月24日

八戸市立多賀小学校



被災学童への奨学金贈呈 2011年6月24日
八戸市立港中学校

活動実績ー② 及び ③

②被害甚大な岩手県・宮城県・福島県等への パイロット地区としての支援の一つ

2011年7月7日、宮城県山元町「アンドラス山元基金」へ送金。

この基金は、八戸南RCが2004-05年に引き受けたアメリカからの青少年交換学生であったモルナー・アンドラス氏が、ALTとして赴任している宮城県亘理町・山元町が被災。同氏が復興を願って設立した基金。

モルナー・アンドラス氏の献身的復興活動を応援。

200千円

③被災4保育園義捐金贈呈

淋代保育園（三沢市） 川口保育園（おいらせ町 おいらせRCから贈呈）

新湊はますか保育園（八戸市） 浜市川保育園（八戸市）

各100千円を贈呈（2011年7月19日）

400千円

活動実績 - ④

- ④サッカーの世界最高峰プロクラブチーム FCバルセロナ [スペイン] が、日本の被災地支援としてチャリティー・キャンプ(児童対象サッカー・スクール)の八戸開催を決定。当委員会が後援。

2011年8月10～12日 八戸市南郷区 カッコウの森エコーランドの南郷陸上競技場にて開催。

国際ロータリー第2830地区も後援者となり、被災地 岩手・宮城の少年少女52名を招待。旅費・宿泊費を支援。

1,020千円



FC バルセロナ 児童サッカー・スクール

(八戸市南郷区カッコーの森エコーランド)

岩手県・宮城県 (第2520地区) 被災地児童招待 (交通費・宿泊費支援)



FC バルセロナ 児童サッカー・スクール

(八戸市南郷区カッコーの森エコランド)

岩手県・宮城県（第2520地区） 被災地児童招待（交通費・宿泊費支援）



FCバルセロナ 児童サッカー・スクール

(八戸市南郷区カッコーの森エコーランド)

岩手県・宮城県（第2520地区） 被災地児童招待（交通費・宿泊費支援）

活動実績 - ⑤

⑤八戸海洋少年団支援

2011年7月3日、提案者八戸東RCの菅原会長からカッターボート用オールや救命胴衣等を寄贈。

これは八戸東RCが受けた友好クラブ第2760地区豊田RCからの見舞金。

当委員会が預託を受けていたもの。

960千円

活動実績 - ⑥

⑥被災家屋水道設備整備支援

八戸市・おいらせ町・階上町の被災地家屋解体に係る給水装置工事（91カ所）。

2011年10月1日八戸圏域水道企業団へ贈呈。

国内外地区・クラブ合同支援事業として実施。

多額事業であり、3330地区（タイ・識字支援）・2760地区（愛知）・2610地区（石川・富山）・宜蘭RC（台湾）・弘前RC からの義捐金等を充当。

9,000千円



被災家屋水道設備整備 贈呈式 2011年 10月1日
八戸港新湊館鼻岸壁地域にて 八戸圏域水道企業団へ

活動実績 - ⑦

⑦三沢市「みさわの底力 NEVER GIVE UP」 三沢地域復興イベント 支援

三沢RC, 三沢東RC等が主催し、2011年11月23日
三沢市市公会堂にて開催。

三沢高校インターアクトクラブのスタッフ活動に、
ロータリー・ロゴ入りジャンパーを寄贈支援。

盛会裏に終了。

151千円

活動実績 – ⑧

⑧心の支援プロジェクト 「絆のキルト」

被害甚大な岩手県野田村へ弘前市のキルトハウス代表古川範子先生の作品「風舞う里」を贈呈。

2012年3月9日、製作者古川範子先生へ小山内ガバナーから感謝状事業費を贈呈。同3月11日野田村役場において、小田祐士村長への贈呈式。古川先生、鈴木地区幹事長、細川委員等出席。

ロータリー財団新地区補助金活用。

358千円



キルト 古川範子先生の作品 「風舞う里」

岩手県野田村 小田祐士村長へ贈呈

活動実績一⑨

⑨チョコレート贈呈サポート

京都洛中RC佐々木哲会員よりフランス屋製菓(株)製チョコレート1,500箱を受託。

同RCの御意向に基づき、下記の学校・児童に贈呈。

赤崎小、蛸ノ浦小、越喜来小(以上岩手県大船渡市)

小友小、小友中(以上岩手県陸前高田市)

いわでやま幼稚園(宮城県大崎市)

岩手県野田村児童(弘前市に招待の際贈呈)

市価 約1,500千円相当

1 2
3 4

6
か
つ
し
ら



チョコレートをもって喜ぶ 大船渡市立赤崎小学校 児童

活動実績 -⑩

⑩岩手県宮古市田老町仮設住宅訪問支援 新世代奉仕関連事業の支援

甚大被災地の仮設住宅被災者に対するメンタルケア事業。津軽三味線・書道・りんご提供等。

新世代事業の見地から、青森県立保健大学の教授・学生（青森RCの同大学ローターアクトクラブ主体）や米山奨学生・木村義正委員等ロータリアン含む34名参加。

2012年7月14日実施。

365千円。



岩手県宮古市田老町 被災者仮設住宅訪問支援
青森保健大学生による書道パフォーマンスの文字を前に笑門来福



岩手県宮古市田老町 被災者仮設住宅訪問支援
青森保健大学生による津軽三味線演奏

活動実績 - ⑪

⑪被災地の子供たちをプラハへ ・ 心の癒し事業

京都洛中RC 主催 + チェコ共和国プラハRC共催プロジェクト

- 京都洛中RCが主催し、その姉妹クラブであるプラハRCが共催する国際大型被災地支援プロジェクトとして当地区へ提案頂いたもの。
- 青森県内被災地八戸・三沢・おいらせの高校生（直接被災者含む）26名、教諭4名、計30名を、チェコの首都で京都市の姉妹都市プラハに派遣。
- 期間中、ホームステイや近隣都市訪問、ヨーロッパ青少年サマーキャンプ参加等、ロータリアンやプラハ日本人会等の大いなる配慮を賜り、本人たちの将来設計のためのみならず、被災地域の未来創りに大きな成果と貴重な体験を得て、全員無事帰国しました。
- 八戸にて5回に及ぶオリエンテーションを実施、駐日チェコ共和国 カテジーナ・フィアルコヴァー特命全権大使、及び八戸市小林真市長もチェコ共和国の説明と激励に臨席された。京都洛中ロータリアン及び夫人計20名と当委員会から鐘ヶ江義光顧問（PDG）、富岡義勝委員が同行。
- 派遣期間 : 2012年7月25日～8月8日（15日間）
- プロジェクト予算総額 約2千万円（推計） 当地区支援 2,310千円



チェコ共和国 プラハ市 オールドタウンのスタロミェスツケー広場



プラハ市 ヴルタヴァ（モルダウ）川 「プラハの夜景船旅」



**チェコ共和国外務大臣表敬訪問
外務副大臣を囲んで(チェコ外務省)**



プラハ市長 表敬訪問

各ロータリークラブのバナー贈呈（写真は八戸RC及び八戸東RCのバナー）



プラハのロータリアン宅等へのホームステイ
ホストファミリーとのスナップ



チームのためのスポーツ・アカデミー運動会で
2名のオリンピック金メダリストと表彰式
右はベラ・チャスラフスカ(東京オリンピック体操金メダリスト)



カテジーナ・フィアルコヴァー駐日チェコ大使 派遣チームオリエンテーション講師役としてご出席。
八戸市長訪表敬問（八戸市庁 2012年7月20日）
池田桜子大使館員、村井達パスト、松本康子ガバナー、フィアルコヴァー大使、小林眞八戸市長、鐘ヶ江義光パスト

4. 地区内ロータリークラブ個別支援事業への協力

- 八戸東RCは地区内RCとしては最大被災地域のクラブでありましたが、友好クラブ豊田RC支援を受け、前述八戸海洋少年団支援を提唱された。当委員会経由の支援となった。
- 八戸南RCは八戸市蕪島の破壊された公衆トイレを移転新築。八戸市に寄贈。
ロータリー財団東日本復興基金日本委員会補助金で当2830地区を含む 2650地区(京都・福井・滋賀・奈良)、2770地区(埼玉南部)、3630地区(韓国・慶尚北道)、韓国・南浦項RC、台湾・中壠中區RC、八戸南黒田正宏会員、以上からのマッチング・グラント方式大型支援プロジェクト。三陸復興国立公園の北の玄関口となる予定。
2011年10月着工、2012年2月完成・寄贈。313,293ドル(25,690千円)
- 国内5モーニング・ロータリークラブ(青森、札幌、旭川、埼玉県川口、京都)は、共同で、6月10日、八戸市教育委員会を通じて八戸市立多賀小学校を訪問、プランター120個、バラ苗木40本と耕耘機、計700千円相当を寄贈(当委員会村井委員長立合)。
- 他にも八戸RCが台湾2RC(基隆・台中中洲)や能代RC、米山奨学生張揚氏(中国)等からの義捐金協力を得て八戸市に5,500千円寄贈。また弘前RCでモンゴルから同国の小学生が描いた絵のカレンダー・ポスターを福島と八戸の小学校へ配布。等々、地区内各クラブがそれぞれ海外姉妹クラブや友好クラブの協力等を含め、支援活動を展開し、委員会も仲介等で協力しております。



八戸市 蕪島 破壊されたトイレ

2012年2月20日八戸南RCのグローバル補助金で移転新築



八戸市 蕪島トイレ 八戸南RCによるロータリー財団助金で移転新築

2012年2月15日完成 2月20日八戸市へ寄贈

5. ロータリー財団資金・他地区からの支援資金

- ロータリー財団からの補助金で活用できるものは新地区補助金及びグローバル補助金。しかし通常の場合、目的は6重点分野(平和と紛争予防・疾病予防と治療・水と衛生設備・母子の健康・基本的教育と識字率向上・経済と地域社会の発展)の奉仕分野に限られており、災害そのものを対象とはしていないため、今回のようなケースでは承認を得るのが難しかった。
- このため、国際ロータリー財団では2011年7月「東日本復興基金日本委員会」を設置、精力的に支援活動を行い、ロータリーとして復興に大きな貢献をすることができました。
- 2012年5月末まで申請271件、承認160件。基金総額 7,815千ドル(約6億2千万円)。申請は3月末で締め切りとなっております。岩手・宮城・福島の巨大被災地向けが中心ですが、八戸南RC蕪島トイレ(25,690千円)も承認されました。
- 京都洛中RCとプラハRCの「心の癒し事業」のように直接の資金提供以外の大型支援もあり、蕪島トイレも含めると2830地区関連実質支援事業規模は7千万円超に達すると推計されます。
- また当地区はお陰様で復興が比較的敏速になされたこともあり、前友好地区の2760地区(愛知県)はじめ、国内外ロータリー関係からの熱心な支援申し入れがあったにもかかわらず、当委員会の仲介により、被害甚大な岩手・宮城・福島の地域への支援に振り向けて頂いた資金も少なくはありませんでした。



第2760地区(愛知県)ロータリー財団委員会
八戸・仙台被災地訪問 当委員会と協議

2011年6月4日 八戸市長訪問

6. 委員会活動総括

- 東日本大震災のような巨大災害からの復興は、旧に復する単なる復旧ではなく、進化であるべきと考え、「創造的進化」を志し、物理面のみならず心理面の支援も心掛けました。
- 日本人の他人を思いやる心、絆の強さが世界を驚愕させましたが、今後は心のケア等心理的復興や、高度な防災・減災技術の向上が望まれます。八戸工業大学が「防災技術社会システム研究センター」を設立し、学界でも学術・研究面の進化に向けて動き出しました。
- 委員会活動としては、2012年7～8月の京都洛中RC+プラハRCの「高校生プラハ派遣・心の癒し事業」をもって、予算面も支援事業も計画を達成、終結となりました。御支援御協力賜りました皆様に深く感謝申し上げます。
- 今後はロータリーの通常活動に組み入れながら、研究機関等との連携も考慮しつつ、大災害からの創造的進化の方向に進んで行きたいと願っております。

7. 委員会メンバー

被災地復興支援委員会

委員長	村井 達	(八戸RC・パストガバナー)
委員	小山内康晴	(弘前RC・ガバナー)
	中村義弘	(むつRC・直前ガバナー)
	富岡義勝	(八戸RC・地区ロータリー財団委員長)
顧問	黒田正宏	(2009-11国際ロータリー理事・パストガバナー)

復興支援企画実行委員会

委員長	北向幸吉	(八戸東RC・新地区補助金委員長)
委員	福田和男	(三沢東RC・直前東第2分区ガバナー補佐)
	平山秀司	(八戸東RC・直前南分区ガバナー補佐)
	西村昭紘	(弘前東RC・ロータリーの友地区代表委員)
	伊藤 睦	(三沢東RC・地区水対策委員長)
	野澤俊雄	(八戸南RC・クラブ直前会長)
	源新育子	(八戸北RC・南分区ガバナー補佐)
	佐々木眞一	(むつ中央RC・地区グローバル補助金委員長)
	荒瀬 潔	(八戸RC・地区ロータリー広報委員)
	木村義正	(青森RC・地区RYLA委員長) 2011年12月17日から委員
	細川勝也	(弘前RC・地区幹事) 2011年12月17日から委員
顧問	鐘ヶ江義光	(八戸東RC・パストガバナー)
	山崎淳一	(五所川原RC・パストガバナー)

* 肩書は委員会設立時の2011-12ロータリー一年度職名

8. 被災地復興支援委員会 収支決算報告書

収入

2012年9月14日

2011～12年度	入金先	金額	備考
4/14/2011	第2830地区 西第2分区 街頭募金	689,374	第2830西第2分区ロータリアン街頭募金
4/15	2010-12年度 ガバナー会	5,000,000	各地区募金からのD-2830宛義捐金
4/18	第3330地区(タイ南西部)地区大会募金	330,000	第2500地区(北海道東部)経由
4/28	第2570地区(埼玉西部地域)ガバナー事務所	1,000,000	義捐金
5/24	弘前RC	20,000	義捐金
6/7	八戸東RC(第2760地区豊田RC)	1,000,000	豊田RC(愛知)から八戸東RCへの義捐金
6/16	第2830地区ガバナー事務所(中村DG)	3,426,202	2010-11年度地区内RCからの義捐金
6/30	第2760地区(愛知県)ガバナー事務所	1,332,436	義捐金
7/29	第3330地区(タイ南西部) 追加送金	285,242	識字率向上プロジェクト支援地区
10/3	第2610地区ガバナー事務所	4,356,580	石川県・富山県
10/3	弘前RC	3,000,000	追加義捐金
10/3	宜蘭RC(台湾)	264,240	十和田RC 経由
12/13	八戸東RC会員 林克己氏	72,578	林克己氏経営の会社からの義捐金
12/15	ロータリー財団 第2830地区新地区補助金	279,396	第2830地区ガバナー事務所(小山内DG)
12/15	つがるRC	62,000	第2830地区がっバナー事務所経由 義捐金
12/15	第2830地区(ガバナー事務所)	235,346	「がんばろう」缶バッジ販売収益金(義捐金)
7/4/2012	京都洛中RC プラハ派遣事業 調整支援金	760,000	心の癒し事業・プラハ派遣 国内旅費・保険料支援
2011～12年度	預金利息 合計	820	
	①合計	22,114,214	

8. 被災地復興支援委員会 収支決算報告書

支出 ・ 残高

2012年9月14日

2011～12年度	支出先	金額	備考
6/17～7/5	青森県内就学中の被災児童への奨学金	7,340,000	県内外からの被災小・中・高生367名へ
6/23	アンドラス山元基金(宮城県ALT)への支援	200,000	元八戸南RCへの米国からの交換学生
7/11	被災保育園へ義捐金(4園)	400,000	八戸市・三沢市・おいらせ町
8/10～12	FCバルセロナ・サッカースクール児童招待	1,019,740	岩手・宮城から被災児童八戸招待(2012/6/29支払)
8/31	八戸海洋少年団支援(八戸東RC-豊田RCより)	960,015	カッターボート オール等流出備品 寄贈
10/4	被災家屋給水装置整備(八戸圏域水道企業団へ)	8,998,500	八戸・おいらせ・階上被災家屋91分水道整備工事
11/28	三沢地域復興イベント支援	151,000	「みさわの底力 Never Give Up」IACユニフォーム
3/8～5/15	岩手県野田村支援「絆のキルト」プロジェクト	358,080	古川範子氏制作キルト「風舞う里」野田村に贈呈
7/14	岩手県宮古市田老町仮設住宅訪問支援	364,753	青森保健大学生等新世代関連被災地訪問支援事業
6/8～9/30	京都洛中RC高校生プラハ派遣事業オリエンテーション等合計	2,306,929	「被災地の子どもたちをプラハへ・心の癒し事業」サポート
9/4	復興支援委員会関連その他活動費	5,000	「みさわの底力」祝賀会費
2011～12年度	送金手数料 合計	9,555	
9/14	D-2830 地区(委員会運営会議)口座へ送金	642	D-2830地区被災地復興支援委員会運営会議費
	②合計	22,114,214	

2012/9/14	①-② 残高	0	
-----------	---------------	----------	--